

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		[21] 東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	あさくさ・うえの・みのわ高齢者在宅サービスセンター					
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2,557,487,339円, 歳出2,553,884,652円, 収支差額3,602,687円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区谷中2-17-20					
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分					
(5) 規模	延べ床面積 2,794.36㎡の内490.81㎡ RC造地上3階地下1階のうち1階の一部					
(6) 人員体制	13名 内訳…事務員(1)、相談員(1)、介護職員（常勤4、非常勤5）、看護職員（常勤1、非常勤1）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	負担金	20,818,000	18,599,000	14,405,000	2,881,000	12,739,000
	料金収入等	75,779,000	77,254,000	82,157,000	95,523,000	87,528,000
	管理経費	96,597,000	95,853,000	96,562,000	98,404,000	100,267,000
決算	負担金	554,000	1,850,634	6,173,000	2,881,000	12,739,000
	料金収入等	112,975,062	112,278,859	119,164,356	117,205,587	94,062,762
	管理経費	96,780,696	95,554,335	104,566,218	105,103,615	97,058,935
	収支	16,748,366	18,575,158	20,771,138	14,982,972	9,742,827
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数		日	311	311	311	311
定員		人	35	35	35	35
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率		%	97.0	96.3	96.0	90.4
利用者数		人	10,600	10,478	10,449	9,835

7. 前年度からの取組

口腔ケアの充実、日曜レストランの実施等により利用者数の増加に取り組んでいる。今後もサービスの向上に努めながら、料金収入の増収に向けた取組みを進めていく。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	事業の運営は、全体的に適切に実施されている。施設の多様な食形態を地域の方やご家族に召し上がっていただく日曜レストランの企画を展開するなど、新たな取組みも行なっている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に対応されている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。
(3) 利用者の満足度	S	利用者の家族等を対象にした日曜レストランなど、独自企画の実施や口腔ケアの積極的な取組みなどにより、満足度調査においても高い評価が得られている。
(4) 歳入歳出	A	管理経費の削減など、予算は概ね適切に執行されている。今後は利用料金収入の増収に向けて、利用率の向上に取り組んでいく必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

施設の管理運営については、全体的に良好である。引続きサービスの向上に努め、利用率の向上を図る必要がある。

11. 評価結果への対応

利用者の満足度調査では概ね高い評価を得ている。また、施設の管理運営についても適切に実施されている。今後も、サービス水準の向上に努め、利用者から高い評価を得られる施設運営を目指すとともに、料金収入の増収に努めるなどの経営努力を継続していくことが求められる。